

平成30年9月23日
今週のベストショット



奈多グラウンド 奈多サンデーズ 対 新町ウインズ戦

七回表、決勝の逆転ソロHRを弾丸ライナーで放つ奈多サンデーズ田中俊弘選手兼監督。

写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗

青松園B 投打が噛み合い三球会快勝！！

ソルトベイスターズ（3勝7敗）00000 0 鶴野●、黒崎一酒井

三苦三球会 （6勝4敗1分）3251X 11 池上○ー藤澤

HR：大津、堺（太）（三球会）2BH：原口（三球会）盗塁：大津（三球会）中村（健）、大門（ソルト）

試合開始前、全員で集合し早々とアップをする三球会に対して、ソルトはなかなかメンバーが揃わずなかなか準備ができない状況でプレイボールとなった。ソルトの先攻で試合が始まる。三球会先発の好投手池上投手をどう攻略するかであったが、先頭三坂選手が三振に倒れる。二番中村（健）選手が四球を選び出塁するも、三番・四番を連続三振と圧巻の立ち上がりを見せる。その裏の三球会の初回の攻撃。切り込み隊長の一番藤澤選手がしぶとく四球を選ぶと、二番坂井（和）選手が初球をバントでしっかり送りチャンスメイク。そしてこの日大当たりの三番大津選手が強烈なセンター前タイムリーで先制する。その後五番堺（太）選手がセンターを抜けるホームランも飛び出し、初回到3点を挙げる。この日の池上投手には十分な得点であったが、二回にも堺（和）選手の2点タイムリー。三回も堺（和）選手のタイムリーと大津選手の3ランホームランなどで打線がつながり得点を重ねた。反撃したいソルト打線であるが、池上投手の速球とチェンジアップの配球になかなか的を絞れずヒットが出ない。そんな中、三回表先頭真弓選手がセンター前へクリーンヒットを放つ。しかし後続がダブルプレーでチャンスを逃してしまう。結局、池上投手が打たれたヒットはこの1本で、9奪三振の圧巻のピッチングであった。ソルトは試合途中に遅れてきた若手選手を入れ替えたが、試合開始時点で揃っていれば、また違った試合展開になっていたかもしれないのが悔やまれる。しかし、池上投手の緩急を駆使した投球には各チームこれからも苦しめられそうだと感じた。また、今日の三球会は若手とベテランが共に活躍するという理想的な戦いだったと思う。（写真・記事：和白新町パイレーツ 白岩 将義）



三球会先発、剛球・池上投手。



ダイエットに成功したソルト先発鶴野投手。



大津選手の強烈なピッチャー返しを鶴野投手が好捕！



チーム唯一のヒットの真弓選手。



2安打と躍動する三球会の元気印 原口選手。



二塁後方フライでタッチアップ。必死の返球でのクロスプレー。



センターオーバーHRの三球会三番の大津選手。



ソルト四番酒井選手と池上投手の真剣勝負！



ソルトベイスターズ リリーフの黒崎投手。

青松園A 奈多クラブ 3ホーマー含む重量打線と今林（瑠）投手の好投で完封勝利！

ブルーマーリンズ（9敗）000000 0 横山（祥）●-横山（健）

奈多クラブ（7勝3敗）025101X 9 今林（瑠）○-安河内

HR：安河内2、今林（賢）（奈多ク） 3BH：今林（辰）（奈多ク） 2BH：横山（祥）（ブルー）

初回、奈多クラブの今林（瑠）投手は横山（健）選手より微妙な内野安打を奪われるも、2三振と快調な滑り出し。逆にブルーマーリンズの横山（祥）投手はコントロールが冴えず3四死球で二死満塁のピンチを迎えるも、バックの好守備で何とか無失点で切り抜けた。しかし、二回裏奈多クラブは、Wプレーで早々と二死となるものの、九番今林（辰）選手がレフト線三塁打、続く一番今林（賢）選手がレフト線へ大きな本塁打を放ち2点を先制。三回裏には、安河内選手の3ランが飛び出すと、四死球やワイドピッチ等でこの回一挙5点。しかし何とか1点を返したいブルーマーリンズは四回表、先頭の井上（広）選手が意地の右中間へヒットで出塁。続く横山（健）選手もレフト前ヒット、糸井選手にもヒットが飛び出し、三者連続安打で無死満塁のビックチャンス。ここで何とか得点したいブルーマーリンズはどんな攻撃を仕掛けるのか？しかし、このピンチに今林（瑠）投手が一つギアを上げ、後続を三振と内野フライに仕留め無失点。その裏、奈多クラブの安河内選手がこの日2本目となる本塁打を放ち試合を決めた。今日は、3ホーマーを含む奈多クラブ重量打線と今林（瑠）投手の好投が噛み合った試合だった。

（記事：三苦フレンズ 肥喜里 一征、写真：御手洗 介登）



二回裏、必死に足を伸ばし併殺を奪う浜崎選手。



二回裏、レフト線へ鋭い三塁打を奪った今林（辰）選手。



本日1ホームー含む猛打賞で活躍今林（賢）選手。



三回裏レフトへしぶといヒットを放つ上野選手。



三回裏、レフト川口選手、あと一歩及ばず!



本日2ホームー含む猛打賞の大活躍安河内選手。



四回表、しぶとく右中間安打を放った井上（広）選手。



四回裏、レフト前ヒットで続いた横山（健）選手。



四回裏、三者連続安打となるヒットを放った糸井選手。



5安打完封で締めた今林（瑠）投手。

雁レク軟式4 ライナーズ大量12得点で圧勝！！

塩浜ジャガーズ (3勝8敗) 0 2 0 0 0 0 2 道喜●—小金丸
雁の巣ライナーズ (5勝4敗1分) 0 2 1 5 0 4 × 1 2 有馬○—明瀬 (航)
HR : 宇野 (雁の巣) 2BH : 今林 (颯)、久保田、明瀬 (旭)、中口 (雁の巣)
盗塁 : 明瀬 (旭)、中口 (雁の巣)

下投げのジャガーズ道喜投手に対しライナーズは初回、フライアウトを重ねて無得点に終わってしまい、何となく嫌なムードが漂う。下投げながらも山なりのボールを駆使して緩急をつける道喜投手がまさに思い描いた展開となった。一方ライナーズの有馬投手は序盤、制球に苦しみ無安打で満塁のチャンスを献上すると、九番道喜選手に中前打を打たれ先制されてしまう。その裏なんとか意識を変えたいライナーズ打線の先頭久保田選手が一塁手の失策を誘う鋭い当たりを放ち出塁するが、続く国崎選手がまたしてもフライアウト。八番今林選手の当たりもフライとなるがいいところに落ち一死二三塁。この場面で九番池内選手がレフトへやはりフライを上げるがこれが犠飛となり1点を返すと、続く一番明瀬 (旭) 選手がお手本のような中前打を放ち同点に追いついた。ライナーズはその後三回から六回まで怒濤の攻撃を見せ主砲宇野選手の本塁打、久保田、明瀬 (旭)、中口選手の二塁打などを含む計12安打、12得点。一方、ジャガーズは三回以降藤崎選手の内野安打と山口選手の左前打の2本に抑え込まれ見せ場を作れなかった。一打席目に自身もフライアウトとなった明瀬旭選手のチームの意識を変えるお手本のような中前打が見事だった。(記事・写真：奈多フェニックス 實延 新伍)



雁の巣ライナーズ・エースの有馬投手。



塩浜ジャガーズの道喜投手。



二回表、先制タイムリーを放つジャガーズ九番道喜選手。



豪快な本塁打を放つライナーズ四番の宇野選手。



鋭い当たりを放つジャガーズ一番石内選手。



際どいコースを何度もカットし、四球を勝ち取ったジャガーズ小金丸選手。

奈多グラウンド 好ゲームの決着は監督の一振り！

奈多サンデーズ（4勝5敗1分） 1 0 1 0 1 0 1 4 古賀○ー野々下
 新町ウインズ （6勝4敗） 0 0 3 0 0 0 0 3 藤田●ー今林

HR：田中（奈多サ） 3BH：田中（奈多サ） 盗塁：長濱（奈多サ）

奈多サンデーズ古賀投手、新町ウインズ藤田投手の好投手の投げ合いとなったこの試合。サンデーズは一番長濱選手が藤田投手の初球を捉え、センター前ヒットで流れを掴むと、ヒットと送りバントで二三塁のチャンスを作ると、四番野々下選手の打席でウインズバッテリーに痛いミスが出て思わぬ形で先制する。しかし、藤田投手は後続を連続三振に取り、最小失点で切り抜ける。しかしウインズは三回にもバッテリーミスで失点し、嫌な形での失点が続いた。そんな流れの中、三回裏のウインズの攻撃。先頭の九番大久保選手がヒットで出塁し、さらに2本のヒットを重ね満塁のチャンスを作ると、藤田選手の押し出し四球と今林選手の2点タイムリーヒットで逆転に成功し、流れを一気に引き寄せる。しかし五回表サンデーズもこの日3出塁と一番打者の仕事をしっかり果たした長濱選手を一塁に置き、続く二番田中選手が一塁線を破る三塁打で同点とし、1点を争う好ゲームとなる。同点で迎えた最終回は、両チームとも一番からという好打順で何が起こるか全くわからない中、先攻サンデーズは一死後、先ほどタイムリーの二番田中選手兼監督が、藤田投手の投じた2球目を完璧に捉え、打球はあっという間にライトを超えていく弾丸ホームラン。ここの一番で大仕事をやってのけた。なんとか同点、逆転したいウインズは、二死後、四球でランナーを出し、四番の桐島選手だったが、最後は古賀投手の内角への速球に手が出ず試合終了。古賀投手の粘り強い投球と田中監督の活躍もあり、サンデーズが1点を争う好ゲームを制した！

（記事・写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗）



奈多サンデーズ先発の古賀投手。



新町ウインズ先発の藤田投手。



ウインズの泉三遊間を守る親子。



バントでチャンスメイクするサンデーズ長濱選手。



逆転タイムリーを放つウインズ今林選手。



ヒットを放つサンデーズ宮口選手。



決勝ホームランを放ったサンデーズ田中選手。



サンデーズバッテリーの攻めに手が出なかった桐島選手。

第20週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第20週、9月23日は4試合が行われました。

青松園Bのソルトベ이스ターズ対三苦三球会戦は、ソルトベ이스ターズの集まりの悪さを尻目に、準備万端の

三球会が初回から堺太一選手のHRなどで先制すると、攻撃の手を緩めず四回ながら毎回の11安打11得点。投げては三球会池上投手が被安打1、9奪三振、三塁を踏ませず完封勝利。

青松園Aのブルーマーリンズ対奈多クラブ戦は、二回裏奈多クラブ今林辰也監督が自ら三塁打のチーム初安打を放つと続く今林賢人選手のHRで先制し波に乗ると五番安河内選手の2HRなど8安打9得点の0-9でコールド勝ち。ブルーマーリンズは四回表の無死満塁のチャンスを活かさきれなかった。

雁レク軟式4の塩浜ジャガーズ対雁の巣ライナーズ戦は、ジャガーズ道喜投手の緩急に手こずるも、二回裏に同点に追いつくと四番宇野選手のHRなど12安打12得点。ライナーズ有馬投手も二回に2点を失うもしっかり立て直し2-12でライナーズの勝利。

奈多グラウンドの奈多サンデーズ対新町ウインズ戦は、相手バッテリーミスで2点リードのサンデーズだが、三回裏に逆転を許す。同点で迎えた最終七回表、サンデーズ監督の二番田中選手の弾丸HRで勝負あり。サンデーズ古賀投手、ウインズ藤田投手が緊張感のある投げ合いも演じた。

幾分涼しくなった早朝ですが、まだまだ熱い試合が繰り広げられます。

好調の選手も巻き返しを狙う選手も、しっかり準備して早起きしましょう！